

<ターゲットシステムに存在するレジストリの値からパスを取得する>

注) このドキュメントは、*InstallShield 2015 Premier Edition* を基に作成しています。*InstallShield 2015* 以外のバージョンでは設定名などが異なる場合もあります。

概要

システム検索を使用すると、インストール時にレジストリの情報などを取得して、取得した値をインストールで使用できます。たとえば、レジストりに登録されているパスの情報を取得して、その値を `INSTALLDIR` に割り当てることもできます。

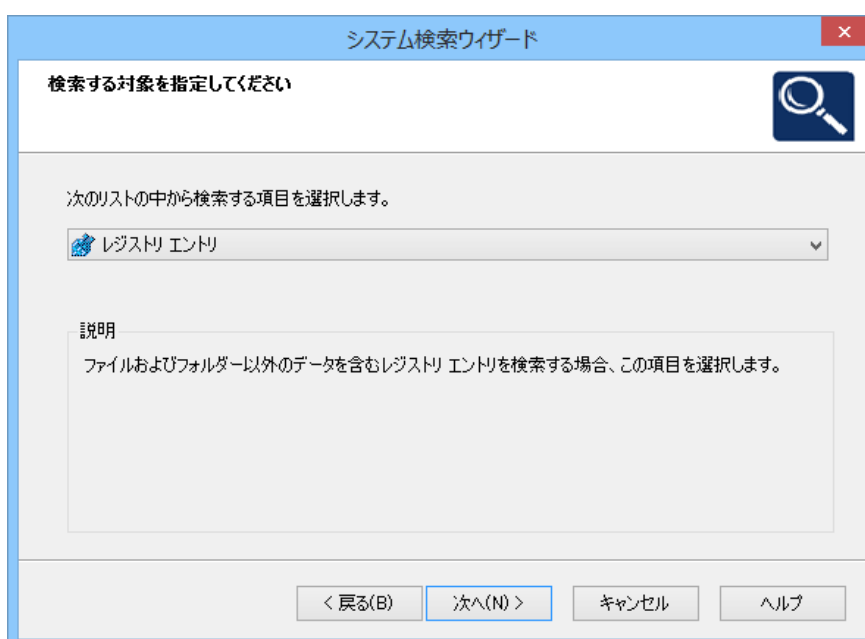
ここでは、既存の関連製品のインストールパスをレジストリから取得して、実行中のインストーラーのインストール先に指定する方法を紹介します。システム検索の機能は、基本の MSI および InstallScript MSI プロジェクトで使用できます。

A. システム検索でレジストリ情報を取得する

以下のレジストリ値 Path に格納されているパスを、システム検索を使用して取得します。

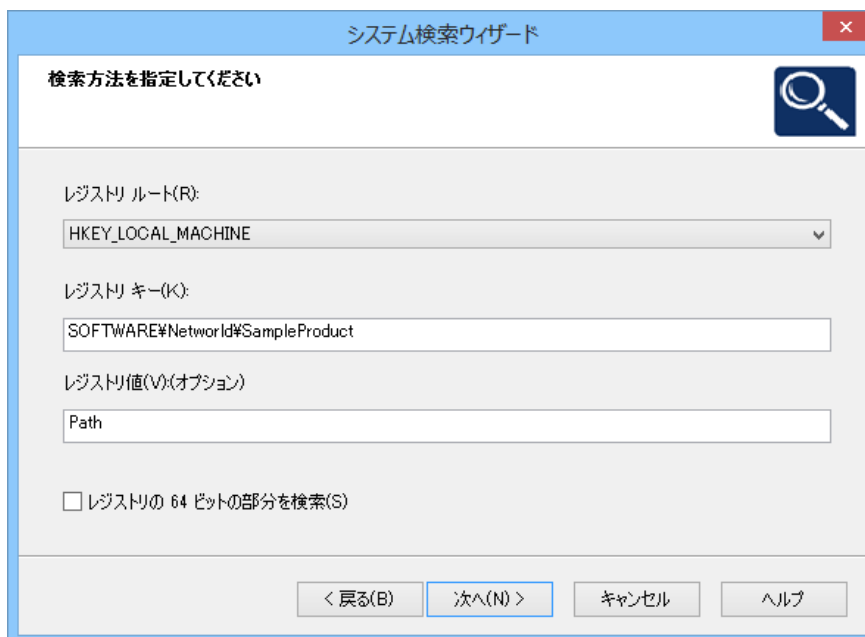
HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥Wow6432Node¥Networld¥SampleProduct
値 : Path
データ : C:¥Program Files (x86)¥Networld

1. [動作とロジック] - [システム検索] ビューにて、右クリックから [追加] を選択し、システム検索ウィザードを起動します
2. [検索する対象を指定してください] パネルで「レジストリエントリ」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします



3. [検索方法を指定してください] パネルが表示されるので、検索する [レジストリルート] [レジストリキー] など指定し、[次へ] ボタンをクリックします

レジストリ ルート : HKEY_LOCAL_MACHINE
 レジストリ キー : Software¥Network¥SampleProduct
 レジストリ値 (オプション) : Path
 レジストリの 64bit の部分を検索 : チェックなし



4. [この値の処理方法を指定ください] パネルで、値を保存するプロパティの名前とオプションを選択し、[完了] ボタンをクリックします

値を保存するプロパティ : INSPATH ※レジストリから取得したパスが INSPATH プロパティに格納されます
 追加オプション : プロパティに値を保存する

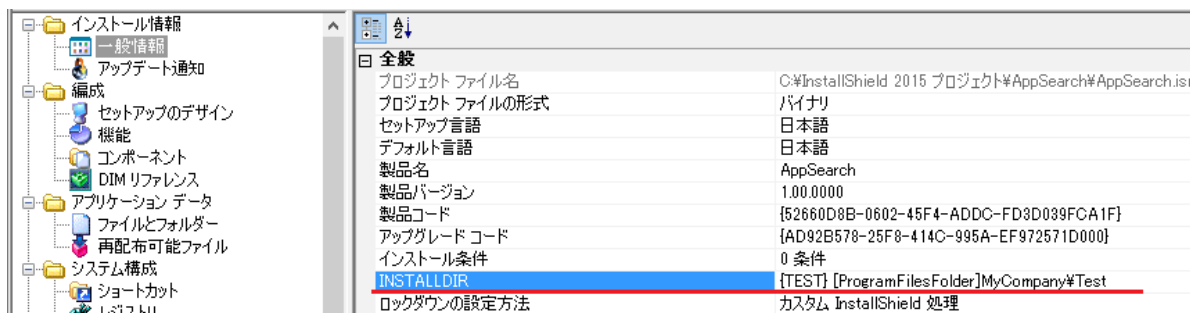
5. 追加したシステム検索が登録されます

システム検索		
検索対象	検索場所	保存場所
Path	HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Network¥SampleProduct	INSPATH

B. 取得したプロパティを INSTALLDIR に設定する

手順 A で取得したパスは、INSTPATH プロパティに格納されています。このプロパティの値を INSTALLDIR に設定するために、プロパティをセットするカスタムアクションが利用できます。

1. [インストール情報] - [一般情報] ビューでは、デフォルトのインストール先を INSTALLDIR に指定しておきます
例) INSTALLDIR : [ProgramFilesFolder]MyCompany¥Test



2. [動作とロジック] - [カスタム アクションとシーケンス] ビューにて、[カスタム アクション] アイコンを右クリックから[新しいプロパティの設定]を選択します。ここでは、カスタムアクション名を「caSetINSTALLDIR」とします

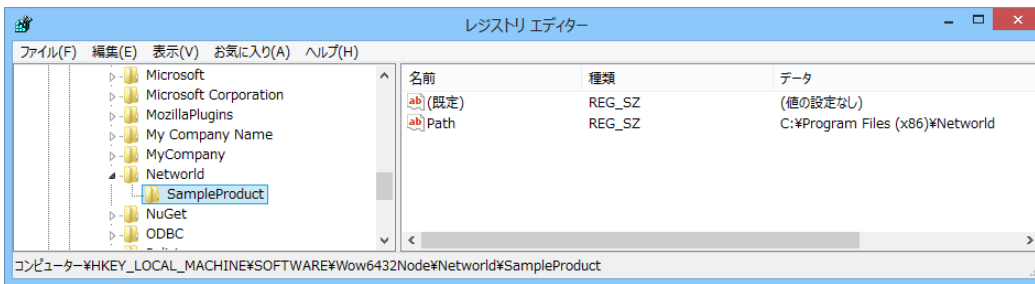
3. 「caSetINSTALLDIR」カスタムアクションで、以下のとおり設定を行います

実行スケジュール	: 1 回のみ実行
プロパティ名	: INSTALLDIR
プロパティ値	: [INSTPATH]
インストール UI シーケンス	: AppSearch の後
インストール UI 条件	: (not Installed) And INSTPATH
インストール実行シーケンス	: AppSearch の後
インストール実行条件	: (not Installed) And INSTPATH

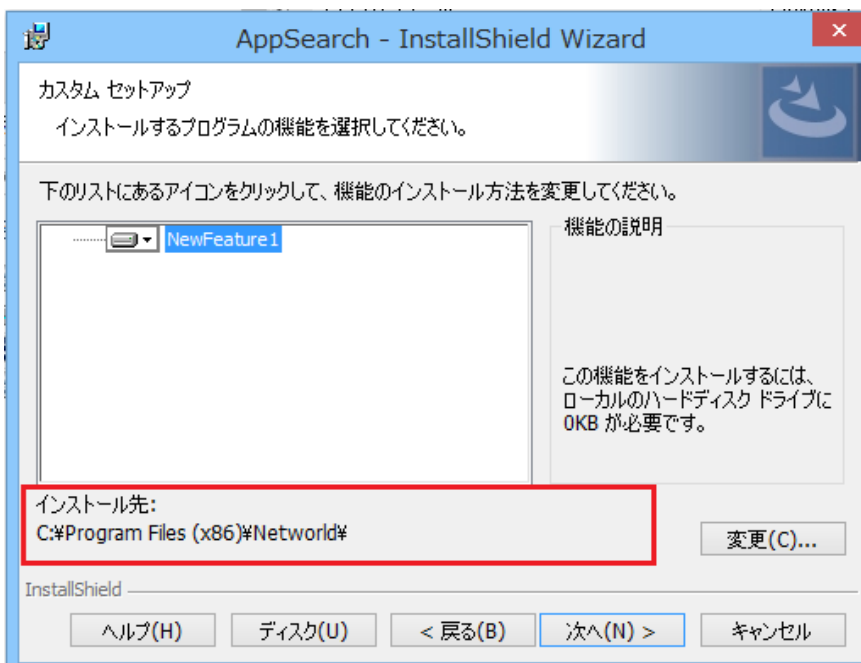


4. ビルドして、インストーラーを実行します

レジストリが以下のように登録されている環境で実行します



[カスタム セットアップ] でインストール先を確認すると、レジストリから取得したパスに変更されていることが確認できます



以上